

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岩手県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「世界遺産平泉」保存活用推進事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一を構成する資産について、広報資料等の作成を行うとともに、講演会等を開催し、文化遺産についての情報発信と普及啓発の推進を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「平泉の文化遺産」パンフレットの作製 2 児童生徒向けの「世界遺産平泉」紹介冊子の作製 3 世界遺産講座「ときめき世界遺産塾」事業の開催 4 観光ガイド養成講座 5 平泉文化フォーラムの開催 			
6 実施体制			
<p>岩手県が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。担当課は以下のとおり。 担当課：岩手県文化スポーツ部文化振興課 また、補助事業等は次の団体が実施する。 実施団体：世界遺産平泉保存活用推進実行委員会 構成団体：岩手県、平泉町、奥州市、一関市、岩手大学平泉センター、いわて高等教育コンソーシアム運営委員会、岩手県ユネスコ協会連盟、一般社団法人古都ひらいずみガイドの会、いわいの里ガイドの会、奥州市世界遺産登録候補地ガイドの会、ときめき遺産塾実行委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 47,005 千円	平成29年度申請額： 11,768 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>県民の世界遺産に対する興味関心を高め、人類の「たから」である世界遺産の保存管理の重要性の意識高揚を図ることにより、適切な保存管理が行われ次世代への確実な継承が期待できる。また、児童・生徒への人材育成及び普及啓発活動を行うことにより継承される受け手側の認識を深め、確実な継承へ繋がっていくことが期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	特になし。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
岩手県計画のため策定の予定なし。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	岩手県文化スポーツ部文化振興課（世界遺産担当）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	「平泉の文化遺産」にまた来訪したい旨の回答			関連事業:	事業①	
目標値 1 :	平成 28 年度		90 %	⇒	平成 32 年度 90 %	
設定根拠 1 :	平成28年度について、非常に高い割合を目標値として設定しほぼ目標値どおり達成されたことから、本年度もその目標値を維持するもの。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	地域の文化遺産を教材とした小冊子の活用度			関連事業:	事業②	
目標値 2 :	平成 28 年度		90 %	⇒	平成 32 年度 90 %	
設定根拠 2 :	平成28年度について、非常に高い割合を目標値として設定しほぼ目標値どおり達成されたことから、本年度もその目標値を維持するもの。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	「平泉の文化遺産を大切にしていこうと思った」などの主旨の回答の割合			関連事業:	事業③	
目標値 3 :	平成 28 年度		80 %	⇒	平成 32 年度 80 %	
設定根拠 3 :	「平泉の文化遺産」の大切さの意識付けを継続維持していく必要性から、平成28年度で達成した高い目標を維持することで設定。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	

目標区分4 :	その他					
評価指標区分4 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4 :	平泉の文化遺産を紹介するガイド体制の維持	関連事業:		事業④		
目標値4 :	平成 28 年度	34 名	⇒	平成 32 年度	34 名	
設定根拠4 :	ガイド全体の高齢化に伴い、毎年度退職者が見込まれる状況において、新規ガイドの養成を行い、ガイドの人数を現状維持すること(平成28年度現状値)を目標値として設定。					
進捗状況4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
名	名	名	名	名	名	
目標区分5 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分5 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標5 :	「平泉文化の関心が高まった」回答	関連事業:		事業⑤		
目標値5 :	平成 28 年度	70 %	⇒	平成 32 年度	77 %	
設定根拠5 :	平成28年度は事業目標値から約1割増の値を達成しており、地域住民の文化資源への高い意識の維持のため、平成28年度目標値の1割増の値を設定(達成状況の維持)。					
進捗状況5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
%	%	%	%	%	%	

